

タウンミーティング議事録

1 日 時

平成30年10月13日（土）午後1時30分から3時まで

2 場 所

北部公民館 大会議室

3 参 加 者

(1) 特別職等

井崎市長、石原副市長、後田教育長、志村上下水道事業管理者

(2) 部 局 長

早川健康福祉部長、秋元子ども家庭部長、武田都市計画部長、
石野都市整備部長、鈴木土木部長、前川学校教育部長

(3) 事 務 局（秘書広報課）

中野課長、石川課長補佐、加藤主事、中村主事、三好主任主事（記

4 来場者数

38名

5 質疑回答

裏面のとおり

Q 市民

初石駅の東口を開設する話が前に進んだ様に感じていますが、突然、橋上駅の話になり驚いています。平成34年度に運用開始と聞いています。しっかり話を進めていただきたいと思います。(要望)

最後にお礼です。9月30日に24号の台風があり、夜中に2階の屋根が飛んだ家がありましたが、北消防署の隊員が来て応急処置をしていただきました。消防署の隊員というと火を消すイメージがあるのですが、あの嵐の中で2階に上って対応していただき、町内の方も喜んでいました。

Q 市民

物流センターの件で、交通対策が進んでいません。南自治会の区域に信号がひとまわりするまで出ることができない場所があり、車がスピードを出して危ないので、横断歩道を作ってください。

次に、流山インターチェンジが草だらけで汚れていますが、市に連絡するとすぐに対応してくれるのでありがたいです。流山インターチェンジは流山の顔でもありますので、訪れた人が第一印象で「流山っていいところだな」と思ってもらえるようにしていただければと思います。

A 市

横断歩道の件は、後ほど具体的な場所などを伺えればと思います。

Q 市民

市内の道路に障害物がある、街灯に樹木がおおいかぶさっている、草が繁茂しているという場合に、市の保有する50年間のデータを元に、いつ草刈を実施するという予定を立てたり、予算を計上したりしたらいいと思います。なお、担当課の職員が市内をパトロールしてこのような箇所を確認する以外にも、担当課以外の職員が出退勤時に確認して通報するなどの協力はできないでしょうか。

先日、道路に猫の死骸がありクリーンセンターに連絡したところ、休日だったのですが職員から「心配しないで」と言われ、気付いたら死骸が撤去されていました。本当に助かりました。市の職員が快く対応してくださり、安心して話ができます。ありがとうございます。

A 市

道路上の障害物等については、現場をパトロールする中で気付いたときは早急に対処していますが、それ以外の業務においても市内各所を回る職員は数多くいますので、情報をいただき随時対処しています。

ただ、常に市内全域をカバーすることは難しく、どうしても見落とす部分が出てきますので、皆さまもお気付きの箇所がありましたらご連絡をいただきたいと思います。

Q 市民

先月、北海道の地震が発生して停電がありました。

もし流山市において真夜中に同程度の地震が発生した場合を考えると、これまでの防災訓練では対応できないと思います。例えば、北部中学校は避難所に指定されていますが、対象地域の住民の人数と避難所に収容可能な人数との間には大差があると思います。

市の防災危機管理課に聞いたところ、要介護者、乳幼児、高齢者等を優先的に収容しますが、それ以外の人々は臨機応変に対応するとのことでした。大震災のときに、市、自治会、市民が何をどこまですべきなのか、具体的な指針を示してほしいです。

A 市

非常に大切な問題提起をいただきました。

現在、自治会が中心となり、避難所運営マニュアルの作成を進めていただいています。また、災害発生時には「自助」「共助」「公助」の原則に基づいて対応いただくようお願いしています。自助としては水や非常食を蓄える、共助としてはお近くの身体の不自由な人を皆で助けることなどが挙げられ、最後に公助として、市、消防署、警察署等が皆さまの税金を使って対応するという順番です。

地震の被害は帯状に発生するため、流山市全域が一度に被害を受けることは考えづらく、助かるところと被害を受けるところがありますので、被害の少ないところが被害の多いところを助けていくという考え方をさせていただければと思っています。

東日本大震災の際、半壊・全壊が1件も無かったのは県内2市町村のみであり、流山市もその1つでしたが、今後も被害が皆無とは言えませんので、

日頃から食糧の備蓄や、近隣との助け合いを心がけていただきたいと思います。

なお、災害発生時、学校等の避難所に市職員や鍵を持っている人が到着できませんでしたら、窓を破っていただいて結構です。市が保障します。市内の停電については東京電力の協力が必要ですが、それ以外については、市民生活部次長防災危機管理担当として、自衛隊出身者を採用していることや、市域の消防・警察を始め、関係機関と連携して対応したいと考えています。

なお、水と食糧は1週間分を備蓄いただくようお願いします。

また、地震発生時に地域住民が全員避難する状況となる可能性は低いと思います。最近では、マンションにお住まいであれば倒壊の危険が無い限り部屋に留まるということも考えられますので、状況に応じて判断することになります。

Q 市民

市長から夢のある話をいただいて、流山に住んでいて良いなと思いました。社会、文化、経済を考えると、非常に素晴らしい計画だと思います。

その中で、流山市の土地は売れば高くなるということですが、その方針で市を存続していきたいという理解でよろしいのでしょうか。流山市に住んでいると人口が増加することが当たり前なので、将来、減少していくというのが想像しづらいです。

A 市

流山市に住んでいると人口が増えるのが当たり前なのですが、ある市町村では、最盛期の人口が21万人、現在は11万8,000人、20年後には6万人になるということです。これは全国的な傾向であり、あと15年もすれば、毎年100万人以上が日本からいなくなります。

家を売りたい人と買いたい人が同数であれば、空き家の数は増えないし、人口も減りません。流山市は、これから資産価値を高くして家を高く売れるようにするというよりは、家を売れば買い手が見つかる、人々が流山に住みたくなる、魅力のあるまちづくりを進めるということを考えています。

Q 市民

地震や台風等の災害に対して、市内にヘリポートを準備しておく等、市外

からの援助を受け入れられる環境を整備してほしいと思います。

A 市

ヘリポート専用の場所は市内に整備していませんが、小・中学校やスポーツフィールド等、ヘリコプターが緊急時に離着陸できる場所が数か所あります（※1）。

※1 補足）流山市地域防災計画においては、新東谷防災広場がヘリコプターの発着場として認められています。また、ドクターヘリについては、小・中学校やスポーツフィールド等に離着陸することが可能です。

Q 市民

「母になるなら流山市」と掲げ色々としていただいておりますが、その中で何点かお願いごとがあります。

小さい子が1歳半検診や3歳検診で保健センターに行きます。その際、保健師に相談できるコーナーがあるのはありがたいのですが、保健師が長年の経験から、こうしなさい・ああしなさいと強く意見を押し付けられる場合があり、母親のプレッシャーになっています。

牛乳はカルシウムがあるから飲ませなさい等と言われますが、子育ての方法は十人十色です。予防接種の成分を調べて自分の子どもには受けさせないという家庭もあります。もう少し母親の意見を尊重してもらえると子育てがしやすいです。幹部から保健師さんに指導してほしいです。

また、出産して1か月後に保健師が家庭を訪問しますが、そのことに安心する母親もいればプレッシャーになる母親もいますので、わかっていたきたいです。

A 市

ご意見は必ず持ち帰って保健師と共有します。ただ保健師は「お母さんにもお子さんにも元気に育てほしい」という思いから栄養バランスについて話しますし、予防接種は法律に基づいて重症度の高い疾病の接種を推奨しているという背景もありますので、ご理解をいただきたいと思います。

赤ちゃんの訪問については、訪問される方の立場に立ってお誘いしていきたいと思います。特に第一子を出産された方には何事も初めての体験で緊張の連続であろうと思います。今回のご意見から学び取らせていただき、子育て

での施策に反映したいと思います。

Q 市民

次に、20年くらい前と比較すると、中学生の精神年齢が3歳ほど低くなったと感じます。今の中学生は以前の小学校高学年くらいの精神年齢なのに、スマートフォンを使い大人ぶって高校生並みのことをしています。

夜中には、すごい数の中学生がファミレスに溜まっています。身体を動かすことも少なくなっています。レベルが下がっていると思います。市にも現状を知ってほしいです。

A 市

スマートフォンは学校で使い方を指導していますが、子どもに限らず高校生も大人もみんな使っており、スマホ依存症になるなど影響は大きいと思います。

子どもは、学校教育、家庭教育、そして地域の中で育つと考えます。ファミレスの問題も含め、子どもを健全に育成できるように引き続きご協力をいただきたいと思います。

Q 市民

物流センターの土がコンクリートに変わると保水力が弱まりますが、対策はあるのでしょうか。市長に「対策している」と明言いただけると、安心・安全なまちであると思えます。10年後に100ミリの雨でも大丈夫という計画を作ってほしいです。

A 市

物流センターの建物の地下に貯水施設を整備しているほか、周辺の地域に59,000トンクラスの調整池を2つと、60,000トンクラスの調整池を1つ作る予定です。加えて、各家庭に浸透ますや浸透管を設置するようお願いしたり、開発許可の条件とすることにより保水能力を高めています。

なお、流山おおたかの周辺には大きな調整池を整備しており、過去最大の雨量において下流に悪影響を及ぼさないだけの容量を確保しています。

Q 市民

小田急の団地などの電柱に「この地域はここが避難場所です」という表示がされていますが、これはどうしたら実現できるのでしょうか。

A 市

実は、電柱に避難場所を表示しているのは、地元の自治会などが東電広告株式会社（現：東電タウンプランニング株式会社）に広告費を支払い、電柱の広告表示と、さらにその脇に避難場所を表示するよう依頼しているものです。

このような広告が地域において「便利である」ということであれば、東電広告とお話いただければと思います。

Q 市民

人口が増えることに伴い、小学校・中学校ができると聞いていますので、今からきちんと検討して余裕のある良い学校にしていきたいです。通学路の安全確保をお願いしたいと思います。

また、通学区域について、例えばお姉ちゃんと弟さんが別の学校に行くのはよくないので、融通の利くようにしてください。各家庭と相談しながら早めに決めていただきたいです。

A 市

平成33年4月に小学校が、平成34年に中学校が完成する予定です。

保護者の皆さまからは「夢を持たせるような学校にしてほしい」というご意見が多く、期待されていると感じます。教育委員会をあげてより良い学校を作りたいと思いますので、ご協力をお願いします。

次に、通学区域については兄弟が別々の学校とならないよう、個別状況により柔軟に対応したいと思います。

Q 市民

昨年母親が亡くなった際、なぜ流山市に火葬場が無いのかと驚きました。火葬しなければ葬儀場も手配できずに困りました。市はどのような考え方なのでしょうか。

A 市

流山市は、柏市・我孫子市と共に「柏ウイングホール」という火葬場を共同設置して運営しております。ただし、利用者も増えていきますので、炉の増設を行い対応していきたいと思えます。

Q 市民

地震が発生するとテレビに各市町村の震度が表示されますが、流山市の震度が表示されるのが遅いです。これはなぜでしょうか。

A 市

テレビの地震速報において流山市の震度表示が遅い理由はわかりかねますが、市役所において自動的に震度の測定と転送が行われています。

Q 市民

「母になるなら流山市。」というブランディングは良い方向だと思います。このようなイメージの牽引はおおたかの森と思いますが、初石や江戸川台では、人口は増えることはなく商店は閉まっていきます。流山市トータルのバランスを考えていただけないでしょうか。

A 市

これまでは流山市に流山市民の集まる「へそ」が無く柏市の商圈の中に組み込まれていました。これを脱却するため、つくばエクスプレスの沿線に今までは無い大きな空間を作って交流を促進しようとしたものです。

地域のバランスについては、現在はおおたかの森が特に浮上していますが市域全体の知名度が上がっていることは間違いありませんので、これからは市内全域に波及効果が広がるよう力を入れたいと思えます。

Q 市民

最後に、流山市と野田市が合併するという話は本当ですか？

A 市

野田市との合併は全くありません。少なくとも流山市から申し入れを行う予定はありません。

Q 市民

市債が気になります。国の補助金もどれだけ出るかわかりません。いかに自ら収入を増やしていくかが重要だと思います。

A 市

流山市は人口が増えると同時に若返っています。「少子高齢化」ではなく「多子高齢化」が進んでおり、あと3年ほど経てば団塊ジュニアの子どもたちの数が団塊世代の数を超える見込みです。つまり、担税力のある若い方が増えていますので、市債については十分に返還可能と考えています。加えて本市は健全な財政を維持する条例を制定していますが、現在は若い方を中心に人口が増えている状況ですので、しばらくの間は財政規模が大きくなっていくと思います。

Q 市民

第6期の物流センターについて、より付加価値の高い事業をしたいという話がありましたら、弾力的に事業者と交渉していただきたいです。

A 市

物流センターの一带については、法律により物流施設のような施設しか作れない状況ですが、事業者が需要と供給をみながら時代に合った適正なものを整備していくと思います。

Q 市民

近所の家が建て替えの際に庭の立派な庭木をバツサリ切っしまい勿体無いと思いました。庭木を一時的に市の土地に保管して他の人に受け渡すようなリサイクルシステムを実現できないでしょうか。

A 市

流山市には庭木の「里親制度」のようなものがあり、市において欲しい樹木を受け渡すような仲介をしています。

Q 市民

流山市の都市整備は一段落したのでしょうか。

A 市

土地区画整理事業については、つくばエクスプレス沿線の5地区のうち4地区は、概ね年内に工事が終了する予定です。

Q 市民

江戸川台小学校、東小学校、北部中学校など古い学校について、全て補修や建て直し等を行わなければならないという診断が出ていますので、早急に計画するようお願いしたいです。

また、災害時の住民の避難について自治会から意見等を受けましたら対応いただきたいと思います。あらかじめ保健室を広くとっておくとか、そういうことを想定した校舎を実現することが可能かどうか、住民の意見を基に検討してください。

A 市

学校の耐震対策は終わっており耐震上の問題は無いのですが、外観や古さの観点から調査を行い何点かの対応案を挙げています。子どもの生活する場ですので、ご指摘のように計画を立て、地域の意見を受けながら検討したいと思います。

Q 市民

学童保育の受け入れが来年の4月から6年生まで広がることはいいことなのですが、東小学校、南流山小学校、鱈ヶ崎小学校、平和台小学校は7月からしか受け入れできないと聞きました。例えば東小学校なら東部公民館の和室を3か月間借りて流用するなど、路頭に迷う子どもがいないようにできないのでしょうか。

A 市

学童については、現状4月の受け入れが難しいのは鱈ヶ崎小学校、流山北小学校、東小学校の3校かと思いますが、こちらは需要を踏まえた上で検討したいと思います^(※2)。

※2 補足)平成31年4月から新たに学童クラブを開設する小学校区は、「西初石小学校区」、「八木北小学校区」、「おおたかの森小学校区」、「流山北小学校区」となり、平成30年6月に整備を決定した「鱈ヶ崎小学校区」、「東小学校区」については、平成31年7月の開設を目指しています。